

## 第 2 回仙台市経営戦略会議の主な意見とプラン修正の方向性

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P1-24	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨子案は概ね賛成。【大黒委員】</li> <li>・骨子案は立派。【山口委員】</li> <li>・骨子案としてはしっかりしたものだと感じる。【熊沢委員】</li> <li>・前向きな骨子案になってきていると感じる。【小粥委員】</li> </ul>	⇒ご賛同いただいた、プランの構成や内容を基本として、よりよいものに仕上げたいと思います。
P19	仙台市役所の経営理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度の決算額などは好転しているが、本来必要とするサービスを提供しているかが大事であって、数字だけを見てはいけない。【斎藤委員】</li> <li>・財政について考えた時に歳出削減が目が行きがち。それが本当に必要なサービスが提供できているのか、検証を入れてもらえるといい。例えば保育所の民営化の例を挙げると、十分な保育ができていないか、質が保てているかは気になる。どこの市でも民間活力の導入はやっているが、それによって必要なサービスが提供されているのか目配りが見えるといい。【熊沢委員】</li> </ul>	⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の経営理念」に「市民のニーズに応じた公共サービスの提供はもちろんのこと、」という表現を加えています。また、本市においては、仙台市基本計画をはじめとする、まちづくりや市民サービスの向上を図る各分野の計画に基づき、市民ニーズ等を踏まえながら必要な施策を推進しております。それらを下支えする本プランでは、「仙台市役所の目指す姿」の「①未来世代に責任ある財政運営」に掲げた「市民サービスの向上と財政の健全性が両立する組織」を実現できるよう、必要な取組みを進めてまいります。
P19-21	仙台市役所の経営理念  仙台市役所の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨子案を読んだ印象として、市役所本庁舎を浮かべるが、区役所のように現場は多様なので、地域の広がりや現場の様子が浮かんでくるような表現があるとよい。</li> <li>また、民間が公共の場所を活用し直す、分散している地域ごとにある資源を再活用する、地域によっては民間と組みながら機能をつくっていくことなどができるのでは。マネジメント上、縦割りはやむを得ないと思うが、対話や交渉が行政の皆さんともできるようになり、空間や関係性に結びついていくと思うので、膨らみを感じられるような視点を盛り込んでもらえたらよい。【青木委員】</li> </ul>	⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の経営理念」に「市民のニーズに応じた公共サービスの提供はもちろんのこと、」という表現を加えたほか、「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」に「職員一人ひとりが現場に入り、市民との対話や学びあいを通じて、それを市役所の施策に活かしていくことがますます重要」であることなどを記載いたしました。
P20-21	仙台市役所の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挑戦と進化を続ける市役所をつくるとされているが、具体的に何を挑戦するのかこの後のページからは読み込めない。職員一人ひとりが現場に向き合い、これまでにない発想を積極的に取り入れると言うのが何をするのか。職員の意識改革やこれまでにない発想の取組みはかなり重要だと思うので、しっかりと記述を盛り込むべき。【斎藤委員】</li> </ul>	⇒ご意見を踏まえ、「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」に「職員一人ひとりが現場に入り、市民との対話や学びあいを通じて、それを市役所の施策に活かしていくことがますます重要」であること、「⑤働く場として選ばれる組織」に「職員一人ひとりの創造性を活かす前例に縛られない組織風土」をつくることなどを記載いたしました。

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P20-21	仙台市役所の 目指す姿	<p>・「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」について、「市役所が持つ公共財産・公共空間の活用やデータの可視化等により、様々な主体が行動できる余白をつくることで、新たな協働を生む環境を構築するなど、まさに新たな風を吹き込むことができる組織を目指す」と記載されているが、意味が分からない。【菅井委員】</p> <p>・「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」について、市が持つ財産を活用してもらい趣旨の表現は受け身な感じがする。挑戦・進化を掲げるのであれば、市からアプローチして主体的に新しいものをつくり、民間の力も協力を得る姿勢があることが大事。【山崎委員】</p> <p>・「仙台市役所の目指す姿」の「⑤働く場として選ばれる組織」では、ハードを変えることによって働き方を変えると読める。コロナの前後で、若い世代が会社に期待することは、力を認めてくれて、発揮できることというデータが出ている。創造性を発揮できる、発言やチャレンジの場があることが選ばれる組織としては必要ではないか。そのためには、創造性を発揮し、生き生きと働ける組織であるとか、能動的、発展的、挑戦的という視点が必要。これまでの公務員は黒子の役割が多かったと思うが、声を上げやすいオープンな組織であるとか、前例のないことに対して取り組む風土を育成するなどソフト面の改革が必要。【関委員】</p>	<p>⇒ご意見を踏まえ、左記の部分を分かりやすい表現に修正いたしました。</p> <p>⇒ご意見を踏まえ、「④協働による新たな価値の創発」全体の表現に手を入れ、職員自身が現場に入ること、本市施策の情報発信を充実すること、新たな価値を創発できる市役所を目指すことなどを記載いたしました。</p> <p>⇒ご意見を踏まえ、「⑤働く場として選ばれる組織」に「職員一人ひとりの創造性を活かす前例に縛られない組織風土」をつくるという表現を追記いたしました。</p>
P20-22	仙台市役所の 目指す姿  実施の方向性	<p>・「仙台市役所の目指す姿」と「実施の方向性」における協働の表現には違いがあり、「仙台市役所の目指す姿」は市役所が取り組むことだけでなく、市役所の目線を超えた表現になっているが、「実施の方向性」は市役所の目線で書かれた表現になっている。挑戦しろとは言いが、無責任なことも当然書けないため、この点について議論を深める必要があると感じた。【渡邊会長】</p>	<p>⇒ご意見を参考にしつつ、「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」、「実施の方向性」の「④協働を推進する」それぞれの説明文を修正し、新たな価値を創発できる市役所を目指すことが感じられるような表現に修正いたしました。</p>

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P22	実施の方向性	「仙台市役所の目指す姿」の「④協働による新たな価値の創発」という表現はインパクトがあるので、「実施の方向性」についても、「協働による新たな価値の創発」としてはどうか。【小粥委員】	⇒「実施の方向性」については、取組みの方向性を端的に示す動詞を掲げて分かりやすく整理したいと考えているため、「④協働を推進する」という表現はそのまま残すものとし、説明文に「新たな価値を生み出すことが重要」との表現を記載いたしました。
P23	経営指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「経営指標」について、民間では管理職に占める女性の割合は3割、年間総労働時間数は1,800時間を目指している。指標は非常に重要であり、目標数値を明確にした上で、トレンドで追っていく必要がある。【大黒委員】</li> <li>・テレワーク、リモートワークは不可逆的であるため、「経営指標」に、リモートワークの達成率などを入れてはどうか。【山崎委員】</li> <li>・「経営指標」に「協働を通じた新たな価値の創発」という視点で指標をつくってはどうか。【小粥委員】</li> <li>・企業誘致や仙台にある企業を大きくする視点のように、歳入の増加に結び付くような指標があるとよい。【小粥委員】</li> <li>・「経営指標」については、実施の方向性との対応関係を図の左側に置き、右に流れるようにつくるべき。すべての指標に目標値を設けることは難しいが、庁内の中ではいつまでにどうするかを明確にすることが最も大事。【関委員】</li> <li>・経営指標について、実施の方向性と対応させることが必要だということは関委員と同じ意見。ただ、分かりやすくすることは重要だが、一方で指標をがちっと決めすぎるとかえって窮屈ということもある。【渡邊会長】</li> <li>・「経営指標」に、見直した業務の数やデジタル化人材の数などを検討してはどうか。【館田委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ご賛同の通り、経営指標を設定し、継続的に実績を把握してまいります。</li> <li>⇒本市においては、WEB会議の導入やモバイル端末の業務活用等を進めていますが、在宅勤務については、引き続き、課題の整理を進めることとしており、指標の掲載については今後の検討事項とさせていただきます。</li> <li>⇒協働の推進に関する事業については、「協働まちづくり推進プラン」を定め進行管理をしておりますが、指標の設定については今後の検討事項とさせていただきます。</li> <li>⇒経済成長については、「仙台市経済成長戦略2023」において、黒字企業割合50%超の目標を掲げ、「本市誘致による進出企業数」や、「集中支援対象企業数」など9つの評価指標を設定し、継続的に進捗管理を行っているところでございます。</li> <li>⇒ご意見を踏まえ、実施の方向性との対応関係を図の左に置き、指標との対応関係を分かりやすく位置付けました。</li> <li>⇒デジタル化については、「DX推進計画」を定め進行管理をしておりますが、指標の設定については今後の検討事項とさせていただきます。</li> </ul>

頁	項目	主な意見	修正の方向性
P23	経営指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共インフラのうち特に老朽化した建物など、公共施設マネジメント総合プランの視点を指標に加えることはできないのか。大口の歳出が見込めるところに特別に注意を払うことが必要。 【渡邊会長】</li> </ul>	<p>⇒「仙台市公共施設マネジメントプラン」に基づき、施設の長寿命化に加え、複合化等の質と量の適正化や民間活力の導入などに取り組んできたところです。施設の長寿命化については、その効果を同プランにおいて示しており、毎年一定の施設において計画的に実施しているところですが、質と量の適正化や民間活力の導入については、画一的な取扱いが難しく、各施設や地域の実情を鑑みながら取り組んでいくことが必要と考えています。そのため、本経営プランにおいても、「公立保育所のあり方に係る方針の策定・実施」、「老人福祉施設のあり方の検討」など、個別に項目立てして取り組んでいくこととしているほか、「仙台市学校施設の長寿命化に向けた方針」において、整備方式の工夫や民間資金の活用を今後検討することとしているなど、施設ごとに方針を定め取り組んでいるところです。引き続き、進捗状況などを公表しながら、将来にわたって市民に必要なサービスを持続的に提供し続けられるよう、取り組みを進めてまいりたいと存じます。</p>
P24	進行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P25 進行管理の分析と評価は素晴らしい。現状分析をしないことは企業の問題解決において一番悪いこと。随時よりよいものに改善していくとよい。【関委員】</li> </ul>	<p>⇒ご意見を踏まえ、「進行管理」に今後の社会経済情勢等に応じて、適宜必要な見直しや新たな「実施項目」の追加していく旨の表現を記載しました。</p>
P25-40	実施項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織のアップデートという話もあるが、例えば区役所には福祉関係の業務をはじめたくさんの職員がいるが、窓口で待っている市民も多いので、業務の効率化をすすめていくべき。【山口委員】</li> <li>・大きな業務の見直しではなく、現場で簡単にできるはずなのに、従来のやり方に固執してしまって面倒くさいことを続けているようなときに、業務の見直しを進めてほしい。【館田委員】</li> <li>・デジタル化は、専門家ではなく、使いこなす側の人が大事。デジタルを使いこなせる人材があちこちの職場にたくさんいることが無駄なことを新しくしていくために必要。【館田委員】</li> <li>・リモートワークについて、市職員全員が出勤して、みんな同じ空間にいることに驚く。テレワーク、リモートワークは不可欠的であり、審議会のあり方も考えるべきでは。【山崎委員】</li> </ul>	<p>⇒ご意見の趣旨を実現するため、職員の業務負担を軽減するための取組み（例：業務の見える化を通じた市役所 BPR の推進、RPA の導入及び利活用の推進）を位置付け、業務の効率化を進め、市民サービスの向上を実現してまいります。</p> <p>⇒「実施項目」において、「業務の見える化を通じた市役所 BPR の推進」を記載してはおりますが、より小さな業務の見直しや改善も推進できるような取組みや体制を検討してまいります。</p> <p>⇒ご意見の趣旨を実現するため、「DX 推進に資する人材の育成」を記載しておりますが、取組みの詳細については現在検討中でございます。</p> <p>⇒本市においては、WEB 会議の導入やモバイル端末の業務活用等を進めており、今後の検討事項とさせていただきます。</p>

